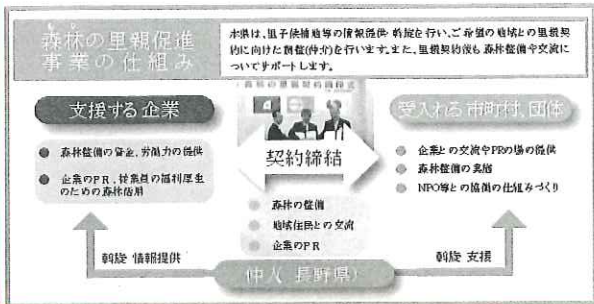


森林(もり)の里親促進事業のご紹介

長野県では、森林保全活動に熱心な企業等と、森林整備に取組む地域との連携による森林づくりを行うため平成15年度から森林(もり)の里親促進事業を進め、現在までに64件の契約、県内の39市町村で地域ごとき特色ある取組みが行われています。

この事業は、森林整備への資金や労働力を提供いただく企業等(里親)と、森林整備の実施と企業等の受入れを行う市町村等(里子)を長野県が仲介するものです。各地の取組み事例を紹介し、同時に、県内各地域の候補地を募集していますので、最寄りの地方事務所林務課または、信州の木振興課まで情報提供をお願いします。

(信州の木振興課)



植樹祭〜ボランティア、この不思議なつながり

【上小地域】



東御市田之尻
里山整備推進委員長
山浦 正芳

「折角、東京からボランティアの人達が来てくれるっていうのに雨では気の毒だな。」

前日準備で雨よけのテントを張っていたときの会話だ。予報では、降



植樹作業

「木が大きく育ち、花がさくまで死ぬた。昨日の5月、小さな集落にとって未曾有の山林火災が発生する。焼失面積約4ha。地権者は20名。集落戸数の約7割近くになる。東御市農林課、上小森林組合のご指導により、地元里山整備推進委員会を立ち上げる。ありがたいことは、地権者に集落全体が加わり、地域のみんなが里山の再生を考えていこうと決まったことである。一方、県の林務部より「森林の里親促進事業」を紹介される。それからは、話がトントン拍子に進んだ。さて当日は、地元の男は植樹、女は接待、おもてなしで、それぞれ総動員態勢で自分の役割に取り組んだ。作業終了後、ボランティアのみなさんと地元住民の交流会は、お酒も入り胸襟を開き楽しい話の場となった。



植樹祭に150名参加

ないね。」
植樹作業に参加した70歳代後半のお年寄りがぼつりともらしたことがその心意気が嬉しかった。

神宮寺100年の森づくりを応援「諏訪地域」

諏訪大社は七年に一度開催される御柱祭で全国的に有名ですが、諏訪大社の御社である守屋山を含む神宮寺生産森林組合所有林等では、地元の神宮寺区や生産森林組合により、今後100年以上にわたって森林を守り育てる「神宮寺100年の森づくり」に取り組んでおり、セイコーエフソン(株)(本社諏訪市)ではその森づくり活動を応援しています。

同社は2008年に制定した「環境ビジョン2050」の中で、地域とともに生物多様性の修復と保全を進めることをうたい、その第一歩として神宮寺生産森林組合と森林の里親契約を締結、同年から神宮寺100年の森づくり活動の支援を開始しました。

活動は森林整備の他、林道・河川整備、自然体験等、地元と協働で実施していますが、地元にとっては整備活動での貴重な応援団(戦力)に、会社にとっては多くの社員やご家族の皆さんが実際に森に入って作業することで、自然や環境問題への関心をより高める機会になるなど、お互いに良い関係を築きながら森づくり活動に取り組んでいます。

(諏訪地方事務所 林業普及指導員)



森づくり活動



子供達の自然体験

長野の林業

平成23年7月10日発行
長野の林業編集委員会

No.258

もくじ



特集 森林(もり)の里親促進事業のご紹介.....	2~4
森の元気情報.....	E
森林セラピーのご紹介とお誘い.....	E
木造公共施設のご紹介.....	E
ナルホド!! 耳より情報... 木質バイオマス最前線.....	7
森林法の改正について.....	E
"学校林・遊々の森" 全国子どもサミット in 信州のご案内.....	E
県森連だより.....	10~11
量中御見舞い申し上げます.....	12~17
長野県の木材市況.....	18

